



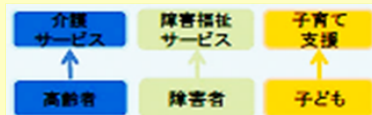
外国人も含む多様な人々の居場所形成を通じた社会的包摂の実践

愛知県・いるかビレッジの事例紹介 (移転前の豊橋市内時点の調査から)

2021.10.29 都市センター 第7回研究会
筑波大学システム情報系・藤井さやか

■厚生労働省(2015)新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン より

- ・福祉ニーズの多様・複雑化



「制度ごとのサービス提供」からの転換

- ・人口減少・高齢化による
地域に応じた体制整備と人材確保

施設運営や介護・支援の効率化

- ・地域包括ケアシステム
- ・生活困窮者自立支援制度

全世代・全対象型
地域包括支援体制の構築

高齢、障害、児童等への
総合的な支援の提供

- ・多世代交流・多機能型の福祉拠点の
整備推進
＜「小さな拠点」の推進＞

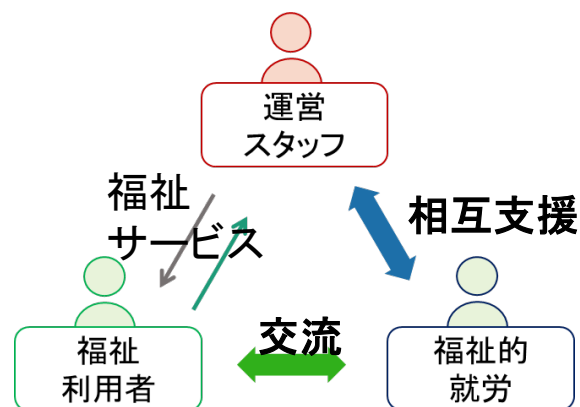
■「共生ケア」とは

「①地域の中で当たり前暮らしのために小規模な居場所を提供し、

②利用の求めに対しては、高齢者、子ども、障害者という対象上の制約を加えることなく、

③その場で展開される多様な人間関係を共に生きるという新しいコミュニティとして形作る営み」

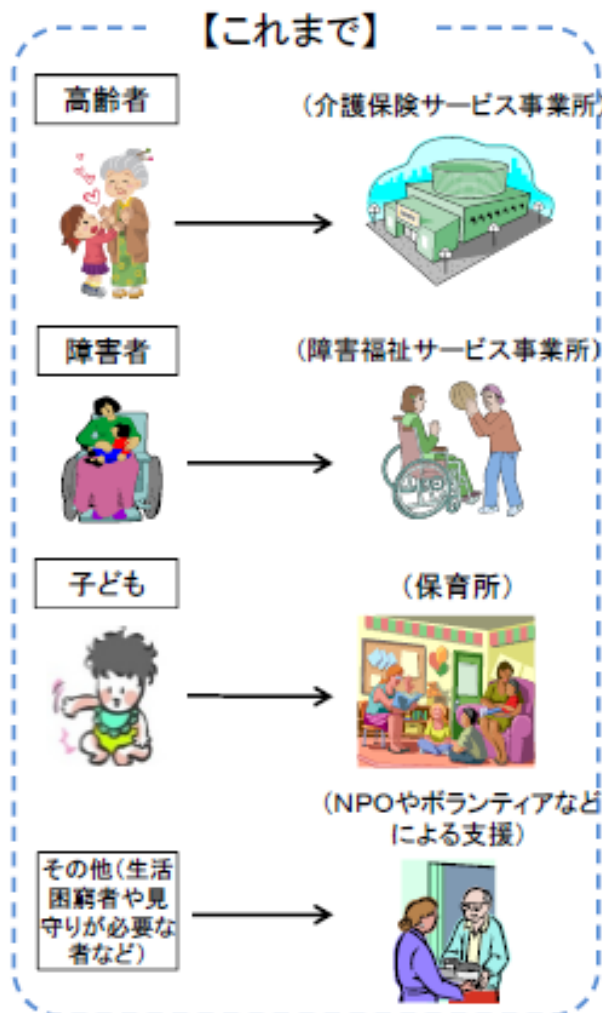
平野(2005)より



地方における多世代交流・多機能型支援の推進

【基本方針（平成26年9月12日まち・ひと・しごと創生本部決定）】（抜粋）

中山間地域等において、地域の絆の中で高齢者をはじめ全ての人々が心豊かに生活できるよう、小さな拠点における制度縦割りを排除した「多世代交流・多機能型」の生活サービス支援を推進する。



制度の縦割りを排除し、柔軟なサービス提供を可能に



実施主体となる市町村を国が包括的に支援

■国内における共生ケアの展開過程

開設当初:利用者を限定しない福祉施設

・障害者就労支援の「福祉的就労」の特例措置が認められたこと

施設内での相互に支え合える関係の構築

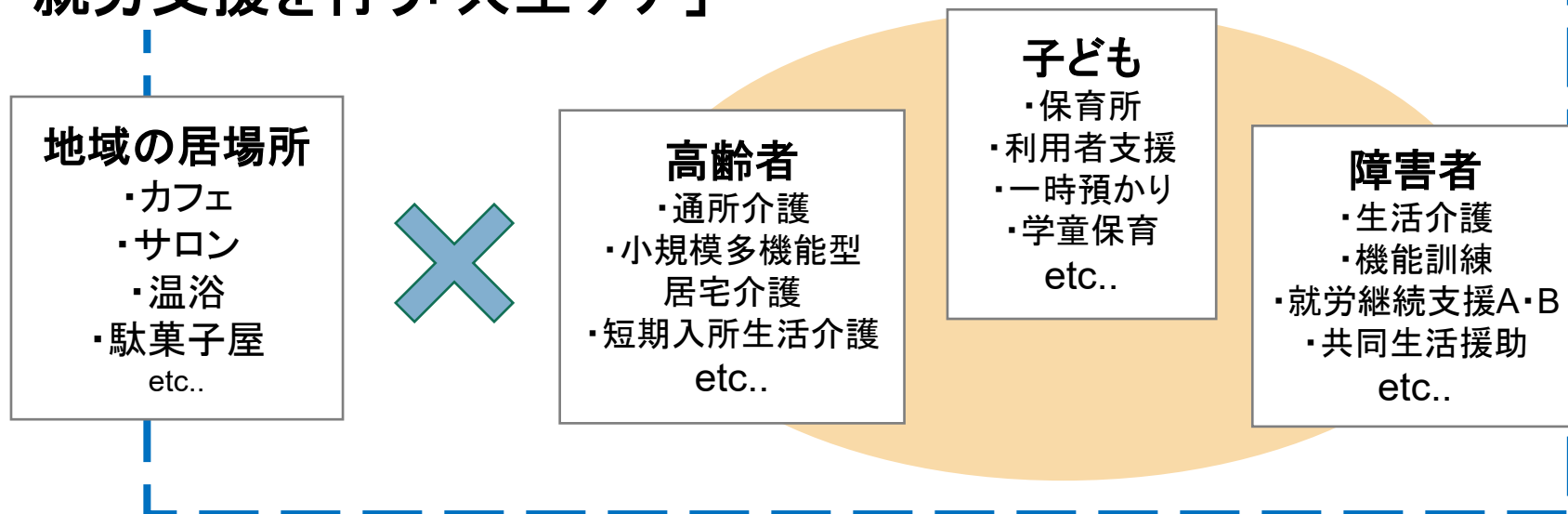
就労支援を行う共生ケア施設における特徴

■先進事例4つの比較・整理

年度	富山県内における地域共生ケア支援の変遷
1993	「このゆびと一まれ」開所
1997	富山県デイサービス連絡協議会発足
2002	富山型民間デイサービス起業家育成講座の開始(～現在)
2003	「富山型デイサービス推進特区」の取得... ①
2004	富山型デイサービス設置整備事業の開始(～現在) 施設整備補助:住宅等の改修・機能向上600万円 新築:1200万円,福祉車両設置 1台50万円
2005	富山型福祉サービス推進特区の指定...②2010年以降、全国展開
2011	とやま地域共生型福祉推進特区の指定...③
2013	規制緩和を活用した就労継続支援B型事業所の開所...③

共生ケア施設名/所在地	A. はたらくわ /富山県富山市	B. ゆうゆう /北海道当別町	C. シェア金沢 /石川県金沢市	D. いるかビレッジ /愛知県 豊橋市
運営主体	NPO このゆびと一まれ	社会福祉法人ゆうゆう	社会福祉法人佛子園	一般財団法人 いるかビレッジ
共生ケアの規模				
就労支援の業務内容	食器の配膳, 洗濯, 清掃等	農作業, 調理業務, 接客, 外部販売 等	公園や温泉等清掃, 袋詰め, データ管理, 調理補助	飲食店調理補助等 農作業, 清掃作業, 介護補助等

就労支援を行う「共生ケア」



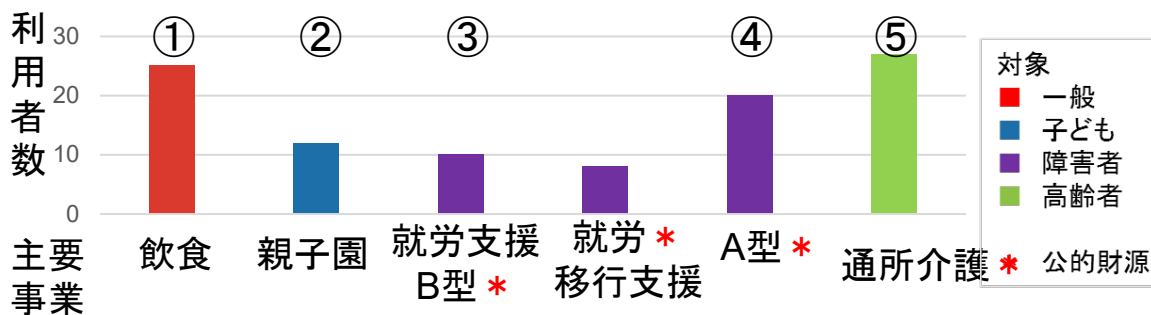
障害者の就労支援業務 × 子ども・高齢者・障害者の共生ケアを実践する拠点

全体運営:一般財団法人 いるかビレッジ

調査滞在日時 2016年12月23日
2017年7月10～15日,11月5日～12日



豊橋市の全外国人市民14,719人
(全体人口の3.89%)
ブラジル国籍者6721人
全国2番目に多い都市



	①Elu-Cafe	②ちゃいるーかの森	③Re.born	④minaka	⑤生活デザインサービス笑々	その他事業
施設・事業形態	飲食店	無認可保育,親子園・学童(夏季)等	就労移行支援,就労支援B型	就労支援A型	地域密着型通所介護,介護予防通所介護	⑥貸しスペース・開設支援
開設年	2013年6月	2012年9月	2012年	2012年	2012年5月	2013年
利用対象 利用時間帯	誰でも可 月～土 9-15:00	親子連れ 火・土・日 10-15:00 子どものみ 月～土 10:00-14:00	身体・知的・精神障害対象 65歳以下 平日 7:30-15:30	身体・知的・精神障害対象 65歳以下 平日 10:00-14:30	介護度: 要支援1～要介護5 平日8:30～17:30	誰でも可 1時間 1500円 (1回2時間)
職員数	5名程度	従業員5名	従業員 5名程度(詳細不明)	従業員11名	従業員17名 看護師・保育士等	-
利用者構成	1日約30人程度	子ども3～10名 大人 3～10名	利用定員 18名	利用定員 20名	利用定員14人 (計27人)	-
備考	子育て支援情報の発信も行うカフェ	火・金曜日に⑤の希望者が来訪,夏季 学童実施	南米系外国人が利用者の半数ほど占める	③・④共に、他事業への職業訓練等を行う	旧焼肉屋をデイサービスに転用。 スタッフ子連れ出勤	1階キッチン 2階ワンフロア 宿泊も可能